

平成22年度公共事業事前評価調書（簡易型）

（土石流被害の防止による評価）

（区分） **国補** 県単

事業名	事業箇所	地区名	事業主体																											
治山事業 [ 復旧治山事業 (国補) ]	南巨摩郡 早川町 赤沢	あかさわ 赤沢	山梨県																											
<p>(1) 事業概要</p> <p>① 課題・背景</p> <p>本箇所は、南巨摩郡早川町赤沢地区に位置する一級河川春木川の左支流であるが、近年の集中豪雨により上流部に山腹崩壊が発生し、ここを発生源とした土砂が渓流内に不安定に堆積し、土石流発生のおそれが高まったため、土砂流出防止対策及び発生源対策を早急に実施し、下流保全対象の保護を図る必要がある。</p> <p>② 整備目標・効果</p> <p>□ 主要目標</p> <table border="0"> <tr> <td>○ 土石流被害の防止</td> <td>人家 32 戸、町道 1600m</td> </tr> <tr> <td>保全対象</td> <td>15 ≥ 10 点 ※</td> </tr> <tr> <td>緊急度・危険度</td> <td>362 ≥ 340 百万円 ※</td> </tr> <tr> <td>被害軽減額</td> <td>(※：評価基準値)</td> </tr> </table> <p>□ 副次目標 —</p> <p>□ 副次効果 —</p>		○ 土石流被害の防止	人家 32 戸、町道 1600m	保全対象	15 ≥ 10 点 ※	緊急度・危険度	362 ≥ 340 百万円 ※	被害軽減額	(※：評価基準値)	<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>① 公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="checkbox"/> 妥当・妥当でない <input type="checkbox"/> 妥当でない</p> <p>・ 森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当</p> <p>② 事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない</p> <p>・ 森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備</p> <p>③ 経済妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない</p> <p>費用便益費 便益(B) / 費用(C) = 5.92 &gt; 1.0</p> <p>・ 便益(B) = 1,021 百万円 ・ 費用(C) = 172 百万円</p> <p>④ 事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 妥当でない</p> <p>・ 流域内は治山堰堤3基が設置されているが満砂となっている。なお、砂防等同等施設の計画はない。</p> <p>⑤ 整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 有効でない</p> <p>・ 保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効</p> <p>⑥ 環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> 配慮 <input type="checkbox"/> 配慮不足</p> <p>・ 切土盛土面は緑化し、裸地を残さない</p> <p>・ 使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を低減する</p> <p>⑦ 事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> 熟度 <input type="checkbox"/> 熟度不足</p> <p>・ 地元早川町からの強い要望あり</p> <p>&lt; 妥当性評価 &gt;</p> <p>・ 7項目全て妥当であることから、妥当と判断する</p> <p>(4) 事業間優先度評価</p> <p>・ 貢献度ランク：a、副次効果ランク：2 ∴ 優先度評価：I</p> <p><b>総合評価</b> <input type="checkbox"/> 総合評価 <input type="checkbox"/> 総合評価不足</p> <p>・ (3) 及び (4) の結果から実施</p> <p>【事業位置図等】</p> <p style="text-align: center;">省略</p>																				
○ 土石流被害の防止	人家 32 戸、町道 1600m																													
保全対象	15 ≥ 10 点 ※																													
緊急度・危険度	362 ≥ 340 百万円 ※																													
被害軽減額	(※：評価基準値)																													
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>① 整備内容 谷止工3基 山腹工0.90ha</p> <p>② 整備期間 平成23年度～平成25年度</p> <p>③ 総事業費 約186百万円（国費93百万円(5/10) 県費93百万円(5/10)）</p> <p>④ 全体計画</p> <table border="0"> <tr> <td>平成23年度</td> <td>谷止工1基</td> <td>山腹工(0.70ha)</td> <td>76百万円</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>谷止工1基</td> <td>山腹工0.70ha</td> <td>55百万円</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>谷止工1基</td> <td>山腹工0.20ha</td> <td>55百万円</td> </tr> </table> <p>⑤ 既整備内容・期間・事業費</p> <table border="0"> <tr> <td>昭和56年</td> <td>谷止工1基</td> <td>9百万円</td> </tr> <tr> <td>昭和57年</td> <td>谷止工1基</td> <td>29百万円</td> </tr> <tr> <td>昭和59年</td> <td>山腹工0.36ha</td> <td>15百万円</td> </tr> <tr> <td>昭和57年</td> <td>谷止工1基</td> <td>21百万円</td> </tr> <tr> <td>平成6年</td> <td>山腹工0.34ha</td> <td>40百万円</td> </tr> </table>		平成23年度	谷止工1基	山腹工(0.70ha)	76百万円	平成24年度	谷止工1基	山腹工0.70ha	55百万円	平成25年度	谷止工1基	山腹工0.20ha	55百万円	昭和56年	谷止工1基	9百万円	昭和57年	谷止工1基	29百万円	昭和59年	山腹工0.36ha	15百万円	昭和57年	谷止工1基	21百万円	平成6年	山腹工0.34ha	40百万円		
平成23年度	谷止工1基	山腹工(0.70ha)	76百万円																											
平成24年度	谷止工1基	山腹工0.70ha	55百万円																											
平成25年度	谷止工1基	山腹工0.20ha	55百万円																											
昭和56年	谷止工1基	9百万円																												
昭和57年	谷止工1基	29百万円																												
昭和59年	山腹工0.36ha	15百万円																												
昭和57年	谷止工1基	21百万円																												
平成6年	山腹工0.34ha	40百万円																												